

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	重症児デイサービス ラナキッズ		
○保護者評価実施期間	2025年 8月 4日		～ 2025年 9月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2025年 8月 4日		～ 2025年 8月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 9月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画や日々の療育のミーティングに、広く職員が参加して話し合う機会が多い。	話し合いに、子供たちの意見も取り入れるように意識している。	個別支援計画についての担当者会議の頻度を増やす。
2	ヒヤリハットを共有し、常に業務や環境の改善に心がけている。	毎月のミーティングで、ヒヤリハットをスタッフ間で共有し対策を話し合っている。	
3	活動や何かを決める際に、子ども達に選択する機会を与え、意思を尊重するように心がけている。	子ども達自身が、日々の個別活動や集団活動で何をしたいか何を選びたいかを確認するようにしている。	

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スロープから玄関の出入りがしづく、浴室の入り口にも段差がある。	構造上の問題	バギーの操作や手足を扉や壁にぶつけないように配慮している。浴室の出入りの際は、一緒に介助しているスタッフと声を掛け合って利用児の移動を安全に行っている。
2	非常災害時の対応や訓練について、家族への周知が十分ではない。	事業所の中だけで訓練や見直しを行っているため	訓練の予定日や実施の様子をSNS等で家族にも周知する。
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	公表日 2025年9月26日					利用児童数 14	回収数 8	
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	8						
	2	7	1			重症度に関わらず、十分対応できるよう職員を適切に配置しています。		
	3	8						
	4	8						
適切 な 支 援 の 提 供	5	8						
	6	8						
	7	8						
	8	7		1				
	9	8						
	10	8						
	11	1	3	2	2	感染面から無理なくいい。	感染対策や安全面を考え、積極的には考えていません。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	8						
	13	8						
	14	7	1					
	15	8				いつも相談に乗ってもらっている。		
	16	7			1			
	17	7	1			スタッフによる。		
	18	5	3			保護者向けの場はあるが、兄弟向けは不明。	家族同士や兄弟同士の交流の場を少しずつ増やしていきたいと思っています。	
	19	7	1				定期的な面談の他にも、必要に応じて対応しています。	
	20	7	1			スタッフによりコミュニケーション能力に差がある。	スタッフのコミュニケーションスキルの向上を目指します。	
	21	6	1		1			
非 常 時 等 の 対 応	22	8						
	23	6	1		1		事業所内で策定し訓練を行っている物もありますが、保護者への周知が不足しています。	
	24	4	1		3		訓練がどのように行われているかわからない。	訓練等に関する情報を、SNS等で家族に周知する機会を増やしていきます。
	25	7			1			
満 足 度	26	6	2				緊急時等、速やかにご家族へ連絡するようにしています。	
	27	8					笑顔で行き来しているので安心できると思う。	
	28	7	1				楽しみにしているが、気を遣って疲れることもあると思う。月に数回だが楽しみに通っている。	子どもたちの気持ちに、更に寄り添っていきたいと思います。
29	8						まだまだ伸びていくデキだと思っているので期待している。	

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	重症児デイサービス ラナキッズ		公表日	2025年 9月 26日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	5	環境整備を行い、スペースを確保している。	子ども達の成長に伴って、バギーも大きくなり狭くなってきた。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	2	スタッフが不足しそうなときは、法人内の他事業所と連携して補っている。	日によってスタッフが少ないことがある。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	5	手足を壁や戸にぶつけないようにバギーを慎重に操作し、浴室への移動の際は介助者同士で声を掛け合っている。	玄関が狭くスロープが通りにくい。浴室の入り口に段差があり危ない。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	1	必要に応じてスペースの確保をしている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	4	体調不良時には感染対策のため隔離をすることがある。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	11		毎月職員全体で話し合う機会を持っている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11		1年に1回行っている。	
	8 職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1	ミーティングや面談を定期的に行っている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	5		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	1	対面またはオンラインで、研修に参加できる機会が増えた。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11		様々な職種の見点でアセスメントを行い、客観的に分析するように心がけている。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11		職員全体で計画に関わるように、定期的にミーティングを行っている。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	1		日々の活動に計画内容がもっと反映されるとよい。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	2	フォーマルなアセスメントツールは該当しないことが多いので、インフォーマルなアセスメントシートを使用している。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11		毎月ミーティングを行い、チームで立案している。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11		活動が固定化しないよう特定のスタッフのみで決めず、幅広く意見を取り入れている。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	11		集団活動の際は、本人に参加の意思を確認して、必要に応じて個別活動に変更している。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	1		
21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11				
22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11		本人の様子をありのまま記録するように意識している。		
23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11				
24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	10	1			
25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	11		日常的に、本人が選択する機会を多く持つようになっている。		

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	10	1	相談室からの関係者会議の呼びかけに、積極的に参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	2	関係者会議に主治医が参加し、情報共有する機会がある。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11		家族を介して行うことが多いが、必要に応じて学校と連携を取っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	6	必要に応じて他事業所と情報の共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	5	今後、必要に応じて行っていく。	今まで対象者がいなかった。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	7		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	8	感染対策や安全面で積極的には考えていないが、地域のお祭りや公園に出掛けて触れ合っていければと思っている。	地域の子どもとの交流の場がない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	7		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	1	保護者とこまめに情報を伝えあっている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	4		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	1		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11		定期的な面談を行い、家族の意向を確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10	1	徐々に家族同士や兄弟の交流の場を増やしている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11		苦情を職員間で共有し、必要時話し合いを持ち迅速に対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	5		法人では行っているが、事業所では行っていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11			事業所内では策定しているが家族への周知が不十分。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11		SNS等で家族へも周知していく。	定期的な訓練を行っているが家族への周知が不十分。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11		定期的に、職員間で共有する場を持ち対策を話し合っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	2		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	11			